

所管課による評価①

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市麻生スポーツセンター	評価対象年度	平成23年度
事業者名	シンコースポーツ株式会社	評価者	地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計																			
	12,884	14,494	16,336	16,271	13,193	15,119	16,466	17,301	15,773	15,826	15,577	15,369	184,609																			
収支実績 (単位:千円)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">収入</td> <td>指定管理料</td> <td>47,024</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td>26,549</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>5,577</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>79,150</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支出</td> <td>管理運営費</td> <td>72,664</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>5,381</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,045</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td></td> <td>1,105</td> </tr> </table>													収入	指定管理料	47,024	利用料金収入	26,549	事業収入	5,577	合計	79,150	支出	管理運営費	72,664	事業費	5,381	合計	78,045	収支差額		1,105
収入	指定管理料	47,024																														
	利用料金収入	26,549																														
	事業収入	5,577																														
	合計	79,150																														
支出	管理運営費	72,664																														
	事業費	5,381																														
	合計	78,045																														
収支差額		1,105																														
サービス向上の取組	<p>◇利用提供に際して大会等については利用者の要望に応じて可能な限り前後の時間帯の利用提供を行っている。</p> <p>◇割引率と利便性を向上した回数券(6枚セット:5枚分の料金)の設定を行っている。</p> <p>◇年末年始の開館日を延長し、利用者の運動の機会を増やすよう努めている。</p> <p>◇スポーツ用品のレンタル、スポーツ小物及び栄養補助食品の販売を行い、利用者の利便性の向上に努めている。</p> <p>◇施設トラブルが発生した場合に遠隔管理センターに24時間いつでも警報が鳴るシステムを導入したことで、設備トラブルによる利用機会の損失を防いでいる。</p> <p>◇リアルタイムで情報を提供するため、ホームページを開設し、情報の充実に努めている。さらに、「あさおスポーツだより」「麻スポ通信」の発行により区民へのスポーツ情報の発信を行っている。</p> <p>◇トレーニング室のマシン入替えや内装のリニューアル、更衣室ロッカーのリニューアル、入口の上下足分離工事などを行い、明るく利用しやすい施設づくりを行っている。</p>																															

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加點割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	◇ 事業計画に基づいた施設の運営がなされている。 ◇ 自己評価・今後の展開・改善案等の検証・検討を行うとともに、利用者からの意見・要望を運営に反映できるよう努めている。			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無きよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3	
(評価の理由)	◇事業計画に基づいて適正に実施している。 ◇トレーニング室のマシンの入替えと内装のリニューアルにより、利用者数が前年度費29%増となった。運動・健康相談プログラムとして「カウンセリング」「パーソナルトレーニング」を導入し、利用促進を図った。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業が実施しているか。	5	3(0.6)	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	4(0.8)	4
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由)					
<p>◇スポーツ教室の数を前年度11教室12講座から、24教室33講座に増やし、多様な教室を開催したことにより、年間受講者数も前年度1,898名から6,198名へ大幅に増加した。</p> <p>◇広報紙「麻スポ通信」の発行のほか、「あさおスポーツだより」を23年度は4回発行し、地域のスポーツ団体の活動についても取り上げ、広報紙を区内町内会へ回覧するなど広く配布し周知に努めた。</p> <p>◇「わ・わ・わ・クラブ」の活動支援については、館内に情報の掲示、広報紙で活動情報の掲載の他、共催イベントを実施するなど、密に連携し、わ・わ・わ・クラブの認知度向上に貢献した。</p>					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由)				
<p>◇大体育室の天井照明を節電タイプのものに交換し、電気使用量を約20%削減したほか、スポーツ教室の数を大幅に増やしたことにより、スポーツ教室に関して、前年度の2倍の売り上げを達成した。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。</p> <p>指定管理者1年目であるが、地域のスポーツ振興の中核を担う施設としての責務を自覚し、スポーツ活動の場を提供するだけでなく、総合型地域スポーツクラブの活動の支援や、区内のスポーツ団体への活動の支援を積極的に行ったことは評価できる。</p> <p>利用促進として、施設の改修による整備を行ったり、スポーツ教室の数を増やし、利用者を大幅に増やした。さらに、リアルタイムに情報を提供するホームページにツイッターやブログといった機能を拡充し、随時更新し、幅広く情報発信を行った。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>引き続き、公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性の両立を目指すように努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努める必要がある。</p> <p>指定管理2年目となる24年度は、地域のスポーツ活動を担う人材の育成、スポーツボランティアの養成、教室終了後のサークル化の支援等を一層推進する必要がある。</p> <p>また、提供するプログラムにおいても、アンケート調査等で利用者のニーズを十分踏まえた上で、高齢化対応プログラム、子育て支援プログラム、障害者対応プログラム等の企画・実施を期待する。</p>
